

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28.10.29 13:30～15:10)

会場(ほんめ町ふれあいセンター)

テーマ(当町における今後のまちづくりについて、 高齢者福祉対策について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	回調査
1	本梅町は農業のまちである。しかし、農業で食べていくことができない。どのような農業をしていけばよいのか。	少数精鋭による農業生産に取り組んでいただきたい。以前はトマト等の栽培が盛んであった。吹田方面、池田方面(大阪方面)への販路の拡大に向けて考えていきたい。	産業建設			
2	本梅町は栗の生産に適している。栗の産地化に向けて力添えをお願いしたい。	丹波栗の産地化など、ほ場整備を進める中で米以外の作物も検討いただきたい。河原林町では小豆で収益を上げているように本梅町でも他に負けないものを見つければ良い結果が出ると思う。	産業建設			
3	有害鳥獣の問題について、防護柵では無理な状態にきている。有害鳥獣1匹に対し報奨金を大幅に増額すれば鹿はいなくなる。思い切った施策をお願いする。	11月15日から猟期に入る。猟期以外は亀岡市に有害駆除の申請をすれば対応いただけるのでうまく活用いただければと思う。	産業建設			
4	国道477号から平松地域、グリーントウンへ行く市道について、ふるさとバスが通り通学路にもなっているが、国道から市道に出入りする車との離合が出来ない。通学時に万が一事故が起こると大変な事になるので、対応をお願いしたい。	市道平松中野道線の問題は平成28年3月定例会で強く申し入れをした。今後も強く申し入れしていきたい。	総務文教 産業建設			
5	国道477号の歩道の整備について。ほ場整備区域では、ほ場整備ができてから歩道設置という順番だが、ほ場整備区域外の部分は今すぐにも工事は可能なので早くしていただきたい。	引き続き要望していきたい。	産業建設			
6	能勢町まで阪急バスが運行している。本梅町まで路線を延長できないものか。	能勢町もかなり補助金を出して現在のところまで運行しているのが現状であり難しい問題であるが、必要なことであると思う。	産業建設			
7	若者が定住するには、大阪方面へ職業や教育で結びつく公共交通の整備が必要である。	若者の定住促進に関して、空き家バンクを活用し、若い人にスローライフをしていただけるようにするなどしてはどうか。農家民泊についてもぜひ手を挙げていただきたい。	公共交通			
8	亀岡駅方面にバスで行くには、公園ターミナル駅で乗り換えなければいけないので不便である。せめてガレリアかめおかまでバスが行ってくれば楽になる。	現在、ガレリアかめおかにターミナル機能を持たせる計画があり、その実証実験の最中である。運動公園のアクセスでは非常に不便で、駅まで直接行けるようになるのが理想だが、そこまでの話は出ていない。議会としても早くしていただきたい旨を申し入れている。	公共交通			
9	本梅保育所と東本梅保育所の統合について意見をいただきたい。	保育所の統合問題は、東本梅から本梅への子どもの送迎に時間がかかるうえに、送迎時に国道477号を渡らなければならないなど心配の声がある。また、駐車場用地が狭いなどの問題がある。平成30年に統合したい市の思いと地域の思いにかなりの距離がある。	環境厚生			

10	婚活の取り組みについてどう考えるか。	桂川市長も府議会議員時代に婚活の質問をされていたこともあり、市としても後押しという形で動いてみるということであった。市長公室でアイデア等を募集したりするなどして取り組んでいる。	総務文教			
11	西部地域の緊急(消防・救急)体制の確立についてどう考えるか。	東本梅保育所の移転後の利活用について、具体的ではないが市長から消防あるいは救急の拠点にできればという話があった。	総務文教			
12	来年度以降の敬老事業について市としてどのように取り組む予定か。	敬老会自体は大事な事であるが、多額な経費をかけて行うか、経費をあまりかけずに行うかの選択は必要かと考える。	環境厚生			
13	介護保険を利用していない高齢者を対象にした事業を行っている。このような事業を亀岡市で展開していく必要性をひしひしと感じている。	外出支援等でも一番ネックとなるのが送迎の問題である。行きたくても足がなければ行けないという方が大勢いる。今後活性化をするために提案していきたいと思う。	環境厚生			